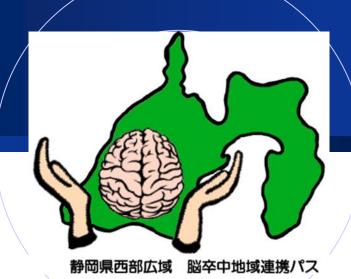
静岡県西部広域脳卒中地域連携パス



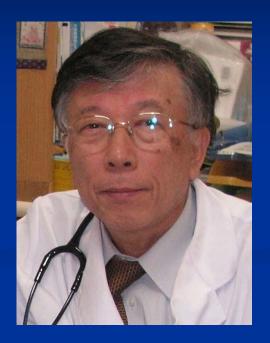
2015年6月17日(水)作成:聖隷浜松病院 地域料連絡室



脳卒中地域連携パスができるまで

「脳卒中の地域ネットワークを考える会」

- 2003年12月より活動
- <u>目的</u>
 - 脳卒中患者様の急性期管理から慢性期管理への円滑な移行のためのインフォームドコンセント
 - 病院、診療所間の情報共有化による外来及び在宅管理の推進
 - 地域における脳卒中医療を出来る限り標準化し、利用者に開示すること



渥美哲至先生

聖隷浜松病院 脳神経外科 田中篤太郎医師のスライドより抜粋



なぜ脳卒中地域連携パスが必要か?

- この患者さんのリスクファクターは何か?
- どの程度までリスクファクターを管理すればよいのか?
- 神経所見のどこに注意してこの患者さんを見ればよいのか?
- ■この処方は本当に必要なのか?

聖隷浜松病院

- □この処方は同効他剤に変更してよいのか?
- ■診療所でずっと見ていて良いのか?





特徵(1)

- ■すべての脳卒中の患者様(入院)に適応する。
- 各医療機関のパス(診療)の間を埋めるもの がこの地域連携パス
- ■最終ゴールと診療情報を共有する形のパスと し、日程は区切らない

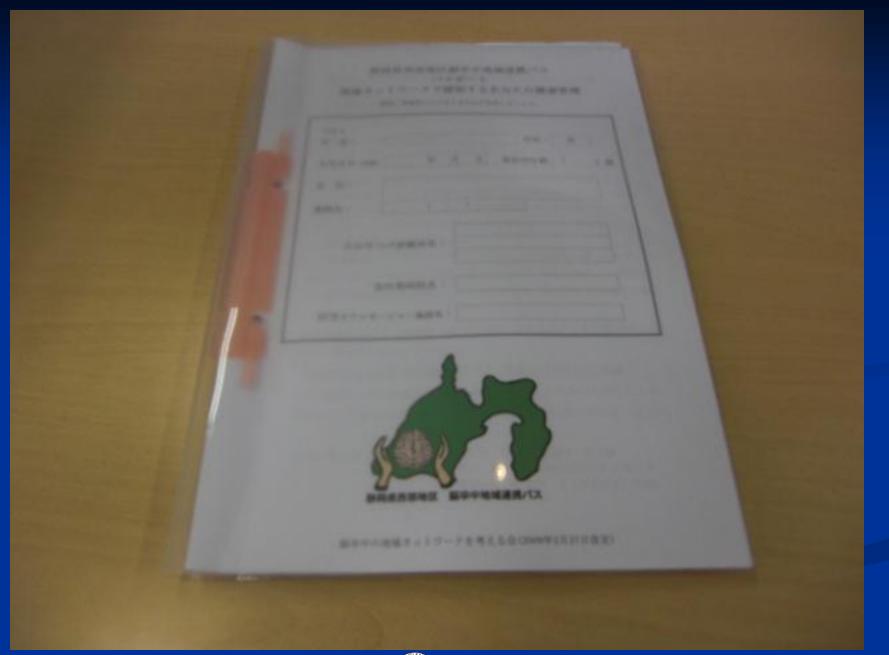
聖隷浜松病院

特徵②

- ■病院一病院間のみでなく、病院一診療所間 にも使用する。
- 循環型パスポート形式のパスとし、すべての情報は情報開示を兼ね患者様にもパスポートのように持っていただく。
- 同一の紹介状を書けば地域内すべての参加 する医療機関で使うことができる



聖隷浜松病院





静岡県西部広域脳卒中地域連携パスパスポート表紙 - スカ -

地域ネットワークで援助するあなたの健康管理

《病院、診療所にかかるときは必ず持参しましょう》

	יליתעיל :			
	氏 名:		性別:	
	生年月日 (西曆)	:	発症時年齢:()歳
	住 所:			
	連絡先:			
	かかり	りつけ診療所名:		
		急性期病院名:		
	担当ケアマ	ネージャー施設名:		
[+	地域連携パスポート:	必要ページ案内】		
	●急性期→回復期 1	p~5p		
1	●回復期→維持期 6	5p~7-()p ※7-()pは()	内に継続イ゚ーダを記載してくださし	١,
	●急性期→維持期 1	p~5p, 7-()p %7-();	oは()内に継続ページを記載してく	ださい。
	※5pは回復期退防	記時に発行の為、急性期より維持期	へ退院の場合は、パスポートには	入らない。



静岡県西部広域脳卒中地域連携パス運用検討会(2010.5.12改定)

炒 静岡!	県西部店	広域脳卒中地域連携パス	(患者	·様用)	紙運用 ※静岡県西部広域脳卒中医 診療を受ける時には必ず打	療連携バスー式 き参しましょう。	ま、 患者 氏名		様
		急性期病院			(中間医療施設)			維持期担当施設	
	Ţ	施設名:]	[施設名:]	[施設名:]
担当医療機関		あなたの連携先を直線(太線) 明示していきます	· ·				1L	> □自宅	<
		めの医療施設が連携して、治療や 夏・維持を実施していきます	機能		□リハビリ病院 □療養病院 □その他()]	j i	□介護施設(□療養病院 > □その他()
再精査指示	3	ヶ月後 □6ヶ月後 □1	年後	4	L_	+			
あなたの 目標	《 希望:	: 社会復帰 自宅復帰 他(>>	«		>>	«		>>
	(A				を継続します	_		□再発予防の投薬を継続しま	す
		所を行います 勿治療を行います	口起居動	が作・移乗	!と定期的な評価などを行い や移動動作などの訓練を行け :参加場面に応じた訓練を行	います 🦝		口危険因子の管理とフォロー アップを行います	183
治療			ロコミュロ日常生	ュニケーシ t活に即し	ョン・嚥下などの訓練を行 た訓練や指導を行います 制度の説明、利用法、その	います 狐	O	□日常生活動作の維持訓練を 行います	*
リハビリ	□急忙	生期リハビリを開始します	困った □各職種 選定・	きことの相 重から家屋	談にのります 環境調査、杖・装具・車椅 退院後の在宅できるリハビ	子等の 🎉			
説明と承諾		病状や予後について説明しま 入院治療方針等に本人または ご家族の方に承諾頂きます	†	入院治	復の見通しなどを説明しま 療方針等に本人またはご家 に承諾頂きます	†		再発兆候の有無や日常生活動 作の維持方法等について説明 します	
その他		自宅復帰時には日常生活が行 必要に応じ介護認定・障害者							17
	1	少女に心しり 設応足 神音有 なは、この表にある地域連携診療	3.002.000.000.000	010000000000000000000000000000000000000			医療機関	 で共有されることに同意します	
説明と同意	年	月 日 主治医:	10000000000000000000000000000000000000	年	月 日 主治医:		4	月日主治医:	
(署名)	患者氏名 又は 代理人氏名:	代理人 統柄(患者氏名 又は 代理人氏名:	79	理人の場合 柄()	患者氏名 又は 代理人氏名	1.3	理人の場合 柄()
		更となる場合があります。 パスポート内に記載されておりますので?	「兼贈 (おう	F15			静岡	県西部広域脳卒中地域連携パス運用検討会(2010.5.12改定)
		nスホード内に記載されておりよすのでる D大事な情報が記載されています。加筆や			」 でご遠慮ください。				



	入院	3: 年.	月日	/ 週	完日:	年月	18	記載日	: 年	月	В	
膨者患者:				様	性別:	0	生年月日:		T.	(),	
Š.					上医療板	関名						
			±	生御侍』		医師名	-					
診断:	Ĭ .		76	T.M.(122	発症E	10000	年 月	В	(時	分)		
来院時主虚状	なし		29		Indicationship			2	20 487	15000		
基礎模態	□☆□ □寓	me 🗆 H	原病	四萬階	ம்றை [心房和	」 「動 □ 仏井復紀	<u>.</u> € □ ₹0:	B ()
合併虚		nde □不	8 E.	□50 病	□被	e [□ 肝機能不全 □ □ 大腿骨類部骨折			€₿ [∃ ራ ∓ቂ	<u></u>
医操処置	□インシュリン注』						□ 表析 □ 排	lå □₹0	Re ()
断者目標	□自宅退院	□ 無 集			2/2/2/2	听型炮 器			300 000 000)
転院・転居目的		□y∧t	000,000,000	SHRIVE.	期級美	M2000011000	□外来診察・投業	-)
春性期 [20介元] 外来支診の必要性	□必要なし	□№卒中9	ረማወ1	状で受診を	集(科)	□@₹	(□定期接	T I	一揆戦	2
脳幹中 再発が疑われ る場合の対応	□当院(急性期)	病院}		0期 対応が	可能效場合	世會院	kT.					
かかりつけ匿	□☆□	□ 89		【名称	es es							
退院時追加事項:	: □追加なし											

		180	
	soccorrana Pi	入院日: 年月日 / 退院日: 年月日	記載日: 年月日
	患者氏 者:	様 性別: 0 生年月日:	() a
	身体の状況	□麻痺【 □右上肢 □左上肢 □右下肢 □左下肢 】 □筋力使下 □痛たぎ〉 □矢器症 □曠下障害	□関漸拘縮 ()
00000000	コミュニュケーション	□व □ □	<u>)</u>
97	注意すべき行動	□#1 □#9 → (, Die
	生活の見守り	□π@ੜ 🔷 (,
	食事	自立 部分介数 全介数 全行数 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	-★] □本梅]
eb	排泄	□ 自立 □ 部分介助 □ 全介物 【使用辞具】 □ トイレ □ ポータブル □ 席書 □ オムツ □ 図書カテー	
0000000	移動手段	□介助を果しない移動 □介助を果する移動(機送台	8)
Spatial Control	起き上がり		2
Selection	立ち上がり ~移業	□できる □見守り・一部介助が必要 □できない	
September 1	坐位保持	□ರಕ್ಕೆ □ರ್ನೆಸ್ಕೆಗಳಿಗಳಿಗಳು □ರಕ್ಷಗು	
10000000	保清入浴	□自立 □部分介数 □全介数	
September 1	者很情報提供書	□☆し □あり ※返院時に記載のこと。	
10000	日常生活 機能評価表	□ ☆L □ あり ※ 窓院時、地域連携診療計画管理料算定の場合	必ず別裁配載すること。
- 127	キーパーソン	□本人 □駅長者 □子供 () □その他 () □なし 茶	陈 捷成:
	主介護者	□乾桐春 □子妹()□老の他()□☆レ	
da l	介護保険	□不要 □未 □中請中 □済 等級 → ()	
	身障手帳	□不要 □未 □中議中 □済 等級 → ()	
	療養型・施設の	□☆ □ 申込班み → □ 命旨者り →	
	予定や 希望の有無	[医療機関:]	
20		退院時記載個	
	起院-転院基準 (起院時必須)		
)r	循環辭 呼吸辭疾器	□なし □あり ⇒運動負荷 □可能 □不可能	
Sales Sales	香染症		
	重症度	病前mRS: 入院時mRS: 逻院時mRS:	検契形動所権 入駅時 WPUS Gr :
17		□#u □#v	11/194 95
3	リハ州棋報合書		

静岡県西部広域脳卒中地域連携パス 統計用紙 (急性期病院)

急性期病院退院時に作成(予後統計データ)。退院時提出。 入力運用

	入院日: 年月日/退院日: 年月日	記載日: 年月日
患者氏名:	様 性別: 生年月日:	()歳
	□ TIA □ 脳梗塞【 □ ラクナ梗塞 □ BAD □ 脳血栓 □ 脳塞栓 (□ 心原	性
病型	□脳室内出血 □出血性梗塞 □静脈(同)梗塞 □その他 ()
	□破裂脳動脈瘤【 □ AcomACA □ ICA □ MCA □ VA □ BA □]多発 □未確認]
	□左 □右 □両側 □正中	
Art SE	□被殼·淡蒼球 □視床 □内包付近 □尾状核 □小脳 □脳幹	部 □ 放線冠
部位	□大脳皮質 【□前□側□頭頂□後□島】	
	□大脳皮質下【□前 □側 □頭頂 □後 □島】	
	□ 頚部内頚動脈狭窄 □ 頭蓋内脳動脈狭窄 【 □ IC □ MCA □ VA □ I	BA]
素因など	□ モヤモヤ病 □ 脳・硬膜動静脈奇型 □ 解離性脳動脈瘤 □ 海綿状血管	· Ref
	□静脈性血管腫 □腫瘍出血 □抗リン脂質抗体症候群 □その他()
	□手術1 () □選択的局所線溶(動注	E) 口 tP A静注
	□手術2 ()	
治療・投薬	□UK静注 □降圧剤静注 □エダラボン □オザグレル □アルガト	ロバン □ヘパリン
	□ グリセロール □ アスピリン □ シロスタゾール □ チクロピジン □ クロ	ピドグレル □EPA
	□その他抗血小板剤 () □ワルファリン □その	他 ()

		(9	在70年的)			
器者氏名:		様		族 性別:	0	
				記載日:	年 月 日	
	病院·医院				病院	
					料	
	先生御侍史	医	師			
退院·転院基準 (退院時必須)						
<診断> 1) 2) 3) 4)						
TATE OF 1-1-11+ + 4	111 MF PA PF	E 240 22 1 12 45 12 15	A 34 FE 4	10日の日本 ごお	12 T 44 /	
お世話になります。急以下に当院での治療					meral.	
					me rau.	
					MA P COLING	
					MA POLIS	
					ME P OLIV	
以下に当院での治療					ME P CLIV	

診療所で 記載

診療所、	静設等へ	杀四部/ 退院時、												紙運用					
患者氏名:	77-534-37-1					性別:	0	生年月	D4.73			()#					
	7ォロー作 院時に必 る)		等は、検	査値、S まの方等	NS静岡 も、家庭	脳卒中的	能スケー	ール改定	浜松版	の記載を	E記載して お類いしま ル改定浜村	きす。							
日付	1	1	1	1	1	. ,	1	1	-	11	1	1	Ş	1 1					
記載者	病院 医師:																		
退院病院D	病院医療	Brille	口検査値	佑笙 †	口抽茶	値等は	口検査	佔垒计	口#曲3	を値等は	口検査値	古笙叶	口非命型	を値等は					
検査項目	管理目標值 (目安)	退院時	表面に		東面			活行		記添付	表面に			に添付					
口血圧				Į.								Ţ,							
口脈拍																			
口体重		60 6		ĵ		ĵ		ĵ				ĵ							
□T-Cho																			
DHDL-C		0		1								Î		- 1					
пшк-с		8																	
□FBS																			
□ньис				j.		į.		j.		j		Ţ,							
OPTHNR		20		J.		į.													
()				Į,															
	し敬定政権		多療所の外 ください。									護口関れ	る方か	定期的					
2直:	①生内移動	1-2004	1			100,1100	->1020 0 1	E-127/4/	174	387.20.0	11000	Î							
している。自 立文は、見守		100		- 0		-						- 17							
	ØH/U	10 s		-				-						- 8					
1点: 分類でしてい	dha w	50 S		- 1															
る。※程度は 問わない。	(5更次	20		-		-		9.0				- 1							
0 <u>#</u> :	rêds mesan	8 :		-		-		-				-		-					
していない。 文は、全介助	(2001-1-	60		- 88						-									
A		0						100				8		-					
Dr 特に注意する症状。文 は、例(版 水、発熱な と)																			
家族								Ĩ				Ī							
症状や状態 で気づいた こと等 ※例(食欲 不振物(症れ など)															: a£			-Cac	
	10 12		-		,	_									rei Hama	matsu	Gener	al Hos	pıtal

静岡県西部広域脳卒中地域連携パス 診療情報提供用紙 (再発予防ノート)

診療所、施設等へ退院時、「定期フォロー依頼検査」記載後、3部コピーを提出。その後、白紙をコピーレ使用。 紙運用

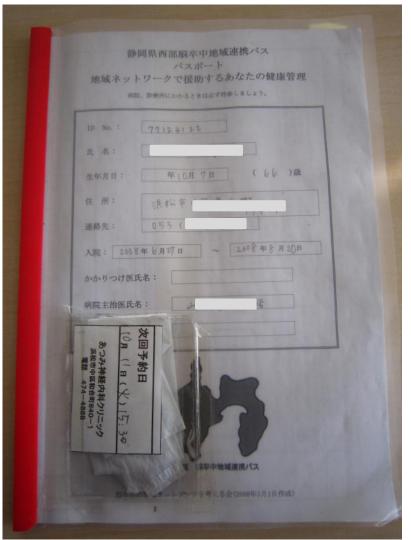
患者氏名:						性別:	0	生年月	目:				()歳
	/オロー依 時に必ず記		査値、SI	NS静岡脳 の方等も	W卒中機能	ピスケール	レ改定浜村	公版の記述	載をお願	いします。	ンて下さい。 E浜松版の記			PROGRAMMENT NG CA
日付 / /		1	1	1	11		/	1	11		11		11	
記載者	病院 医師:										2			
退院病院D	病院医師の指	示項目	 □検査	値等は	□検査	値等は	│ □検査	値等は	 □検査	値等は	□検査値等	等は	□検査	値等は
検査項目	管理目標値 (目安)	退院時	裏面は	添付	裏面は	添付	裏面は	添付	裏面(こ添付	裏面に添	付	裏面は	添付
口血圧														
□脈拍					3		ć) J			23			
□体重			.,		,.									
□T-Cho	20		3		3		8				33			
□HDL-C					,									
□LDL-C			3		3		2							
□FBS														
□HbA1c	2		2		3						38			
□PT-INR														
	3	S 99	3		3		2							
Ns		下記仕 診	を配の生	生方や・	三番師・イ	 ↑:誰十•ケ	 アマネー	 ジャー• 家	z 佐竿 衫	 春· 若誰	- - 介護に関わ	ス古り	———— 《完甘的》()	二二二章

※2点以上低下仕事発の経 Department of Neurosurgery, Sevret Hamamatsu General Hospital

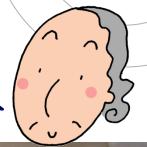
Ns SNS静岡脈 スケール改		下記は、診 ください。			:・ケアマネージャー・ 急性期病院へ相談を		介護に関わる方が	が定期的にご記載
2点: している。自	①室内移動		S				\$2 \$2	
立又は、見守り。	②外出	50						
1 温・	③トイレ	0	*					
介助でしている。※程度は	④ 入浴	EQ: 92	100				E0	
問わない。	⑤更衣	ce e	*				20	
-71 × +×1 ×	®経口摂取	50	10				50	
又は、全介助	∅コミュニケーショ ン	20 20	*					
合	Ħ							
Dr 特に注意する症状。又 は、状態 ※例(脱水、 発熱など)								
家族 症状や状態 で気づいた こと等 ※例(食欲 不振、便 秘、物忘れ など)								
				7-()	Donastmont	静岡県西部広域	。 機器卒中地域連携パス運用 Poivoi Hamamat cu	月検討会(2010.5.12改定) Comova (Hocmital
					Department o	f Neurosurgery, S	etrei Fiamamaisu	General Hospital

A氏のパスポート(2008年~)





これは私の歴史 なんです





静岡県西部地区脳卒中地域連携パス (再発予防ノート:経過表) 無運用 経時的な症状の経過・変化を記入し急性期病院に行く時には必ず持参しましょう

氏名:

脳	卒中 病状経	過 /		A 1 - 19 6 9 14 8	MINISTRACTURE STORY	
作月日	Wyst	T.	30/1/	20個以降は必要な		てください
施設.科名/署名	. /	-	2/2/4	Azr 1/27	2/8/2	173
	1-01			1001/47		
パタルサイン	130/70	1301	Vito (no	109/n	130/20	36/00
血圧	hy.	130/90	(no /20)	104/14	(1-1)0	13.6/80
体重 など	01	100	100	68	72	50
検査結果				年刊、11.21 MAZ での 知味がなり の月かなを再開る	73/2 An	2017P41
。 室内移動	1	1		30		
0					1	1
外出 外出 トイレ 人 冷 要 経 経 取 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大					1	
卒入浴	leak	14.	106		1925	1 / Tay
機能更衣	1 / 1/8	Thy	1767		1	1/8
ス				1 13 3		
11	,		1/			
改定 2点・している 1点・介助でしている	、 合計 点	合計点	点 信合 点	点 信合 点	点 信台	合計 点
版 の点・・・・ エレゲル						Mails
□高次脳機能障害						200
注意する症状						1,
(高リスク項目)						1/616
注意する症状				N SE		
(新しい症状が 出たら相談・連絡)						
処置・その他						M. T.
次回診察日				V/9 35	等.	
(検査予定など)				/30 MR	エ	てもらってくださ

医師、看護師、介護師、ケアマネージャー、ヘルパーなど診療、看護、介護に関係する方に記入してもらってください。 再発予防ノート:経過表 (2008.5.20作成)

報報 新変数 14 日 1日3回 新変数 14 日 パルジオンの、25mg数 0.5 錠 1日回 放変数 14 日

超速 対スターD終10mg 2 錠 ガスターD終10mg 2 錠 ガスターD終10mg 1 錠 ジェイングロフト錠25mg 1 錠 ジェイングロ0 10mg 1 錠 メバロテン錠10 10mg 1 錠 メバロテン錠14 日 1月1回 夕食後14 日 酸セマグネシウム錠250mg 「モチダ」6

錠 1日3回 毎食後 14 日 ハルシオン 0.25mg 錠 0.5 錠 1日1回 就寝前 14 日

授業 ガスターD錠10mg 2 錠 1日2回 朝・夕食後 14 日 ジェイゾロフト錠25mg 1 錠 メバロチン錠10 10mg 1 錠 1日1回 夕食後 14 日 酸化マグネシウム錠250mg「モチダ」6 錠

1日3回 毎食後 14 日 ハルシオン 0. 25mg錠 0.5 錠 1日1回 就寝前 14 日

投棄:
ガスターD錠10mg 2 錠
1B2回 朝・夕食後 14 日
ジェイゾロフト錠25mg 1 錠
メバロチン錠10 10mg 1 錠
1日1回 夕食後 14 日
酸化マグネシウム錠250mg「モチダ」 6

1日3回 毎食後 14 日 ハルシオン0. 25mg錠 0.5 錠 1日1回 就寝前 14 日

投棄 :
ガスターD錠10mg 2 錠
1月2回 朝・夕食後14 日
ジェイゾロフト錠25mg 1 錠
メバロチン錠10 10mg 1 錠
1月1回 夕食後14 日
酸化マグネシウム錠250mg「モチダ」6
錠

1日3回 毎食後 14 日 ハルシオン 0. 2 5 mg錠 0.5 錠 1日1回 就寝前 14 日



完成!!

静岡県西部広域脳卒中地域連携パス パスポート表紙 - スカ-

地域ネットワークで援助するあなたの健康管理

《病院、診療所にかかるときは必ず持参しましょう》

アリガナ : 氏 名:	性別:
生年月日 (西曆)	発症時年齢:() 歳
住 所:	
連絡先:	
かかり・	つけ診療所名:
	浜松市中区住青2-12-12 474-2222
;	急性期病院名: 総合病院 聖隷浜松病院
担当ケアマネ	・ 一ジャー施設名:

【地域連携バスポート必要ベージ案内】

●急性期→回復期 1 p~5p

●回復期→維持期 6 p~ 7 - () p ※ 7 - () p は() 内に継続がよがを記載してください。

●急性期→維持期 1 p~5 p、7-() p ※ 7-() pは()内に継続ペーツを記載してください。※ 6 p は回復期退院時に発行の為、急性期より維持期へ退院の場合は、パスポートには入らない。



静岡県西部広域 脳卒中地域連携パス

静岡県西部広域脳卒中地域連携パス運用検討会(2010.5.12改定)

1



診療所先生方へのお願い

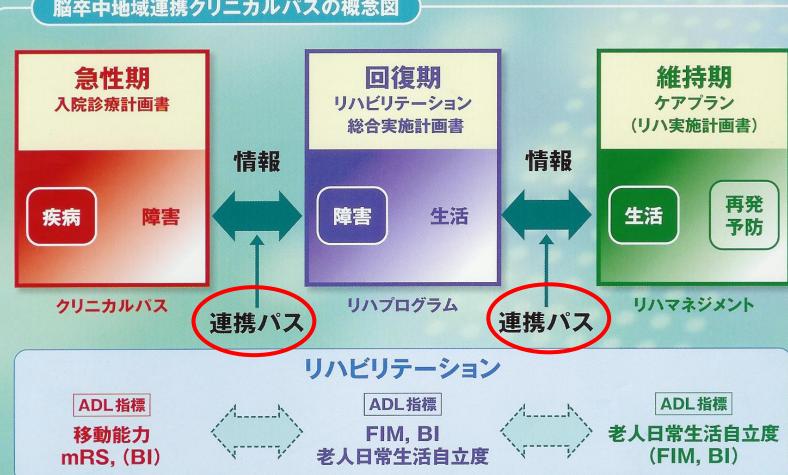
- 再発予防ノートに家庭血圧を記載するように患者様と、ご家族に指導いただく
- 再発予防ノートにSNS静岡脳卒中スケール改訂 浜松版のスコアを記載するようにご家族に指導い ただく
- 再発予防ノートにリスクファクターの重要項目 (HbA1C、LDL choなど)の記載をいただく
 - ※もちろんもとからお使いの手帳も可

聖隷浜松病院 脳神経外科 田中篤太郎医師のスライドより抜粋



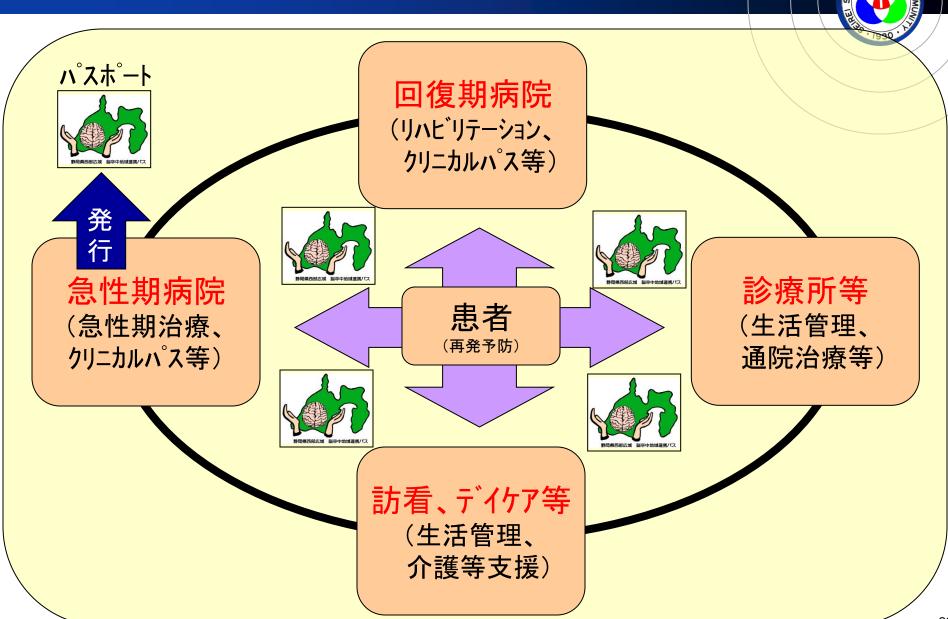
脳卒中のクリニカルパスの概念とは3





診療情報の共有・治療の継続性(再発予防・併存疾患の管理)

脳卒中地域連携パス連携図





地域連携パスと診療報酬改訂

診療報酬改訂の経緯

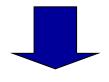


平成18年 急性期・回復期、大腿骨頸部骨折を評価



平成20年 急性期 • 回復期、

大腿骨頸部骨折、脳卒中を評価



平成22年 急性期・回復期・診療所等、 連携を評価

大腿骨頸部骨折、脳卒中を評価

3段階の

脳卒中連携パス運用までの経緯

2004年 脳卒中の地域ネットワークを考える会 発足 研究会 (急性期・回復期・診療所・訪問看護ST等)

脳卒中地域連携パスの提案 (急性期・回復期・

診療所の連携)

2008年 8月 急性期・回復期・生活期の地域連携パス →急性期病院と回復期病院で地域連携パスの運用

(急性期 3病院 × 回復期 5病院 × 地域診療所)



・脳卒中地域連携パスの運用(急性期・回復期の連携)

- ・講演会や説明会(広報)
- ・地域連携パスの見直し作業 (質の向上)

2010年 6月 地域連携パス改定と参画の拡大

→<u>近隣の地域で、統一</u>した地域連携パスの運用

(急性期 6病院 × 回復期 11病院 × 診療所 14医院)

- ・診療所の評価(連携拡大)
- ・浜松市医師会と各病院が、地域連携パスの契約締結(浜松市医師会と連携)

2012年 8月 中東遠の診療所(医師会)が参画の拡大

→<u>県西部広域で、統一</u>した地域連携パスの運用

2014年1月 急性期6 - 回復期13病院、診療所109医院)

・近隣医師会と各病院が、地域連携パス契約締結・近隣医師会と連携拡大)

運用の拡大へ

(連携パス事業の継続)



静岡県西部~中東遠地域での参画施設



静岡県西部広域脳卒中地域連携パス施設

※2014年1月1日現在



参画(脳卒中・大腿骨) 医療機関 ※2014年1月/日現在

計画管理病院	
→ + # / □ 1/全 / 〒 - 赤 + 4/4 目目	8病院
連携保険医療機関	1 7病院
かかりつけ医 7医師会	165医院

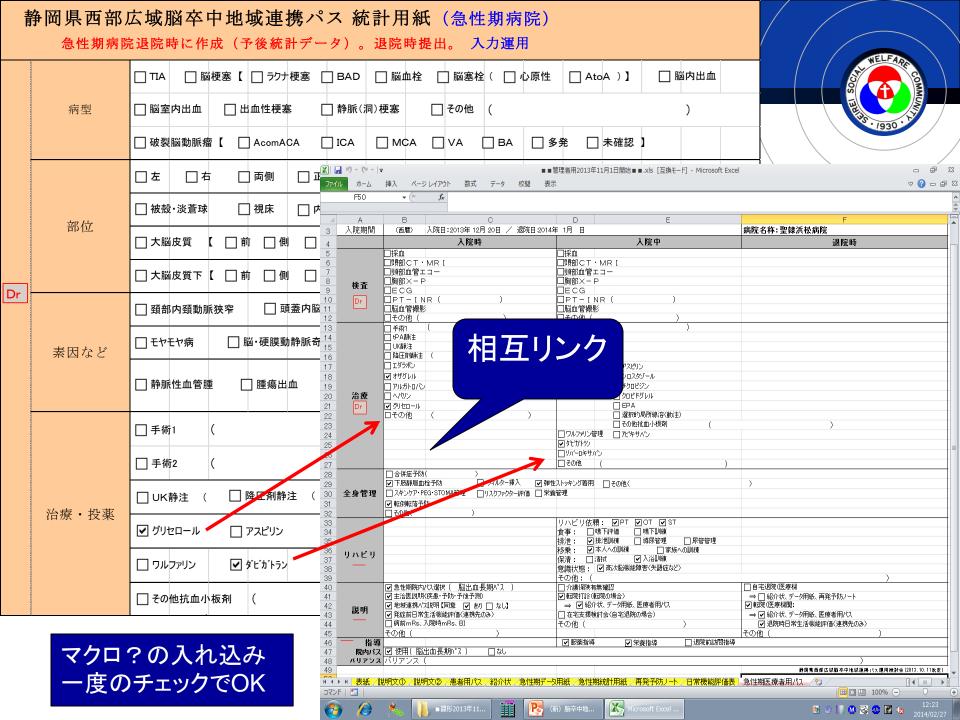
	/K=01.1 1/1 / F	Ž.	8
	医療機関名	大腿骨	脳卒中
計画管理病院	聖隷浜松病院	0	0
	聖隷三方原病院	0	0
	浜松医療センター	0	0
	磐田市立総合病院	0	0
	浜松医科大学附属病院	0	0
	中東遠総合医療センター	0	0
	浜松赤十字病院	0	
	浜松労災病院	0	
連携保険医療機関	浜松北病院	0	0
	北斗わかば病院	0	0
	浜松市リハビリテーション病院	0	0
	常葉リハビリテーション病院	0	0
	協立十全病院	0	0
	すずかけヘルスケアホスピタル	0	0
	市立御前崎総合病院	0	0
	公立森町病院	0	0
	浜松南病院	0	
	引佐赤十字病院	0	
	豊田えいせい病院	0	
	磐南中央病院	0	
	袋井みつかわ病院	0	
	聖稜リハビリテーション病院	0	
	遠州病院		0
	磐田脳神経外科病院		0
	菊川市立総合病院		0
	天竜病院	0	
	すずかけセントラル病院	0	0
連携診療所	浜松市医師会	0	0
	浜北医師会	0	0
	浜名医師会	0	0
	引佐医師会	0	0
	磐田市医師会	0	0
	磐周医師会	0	0
	小笠医師会	0	



地域連携パス原本の内容 はこんな感じです

Excelシートの改訂作業







新規参画や変更

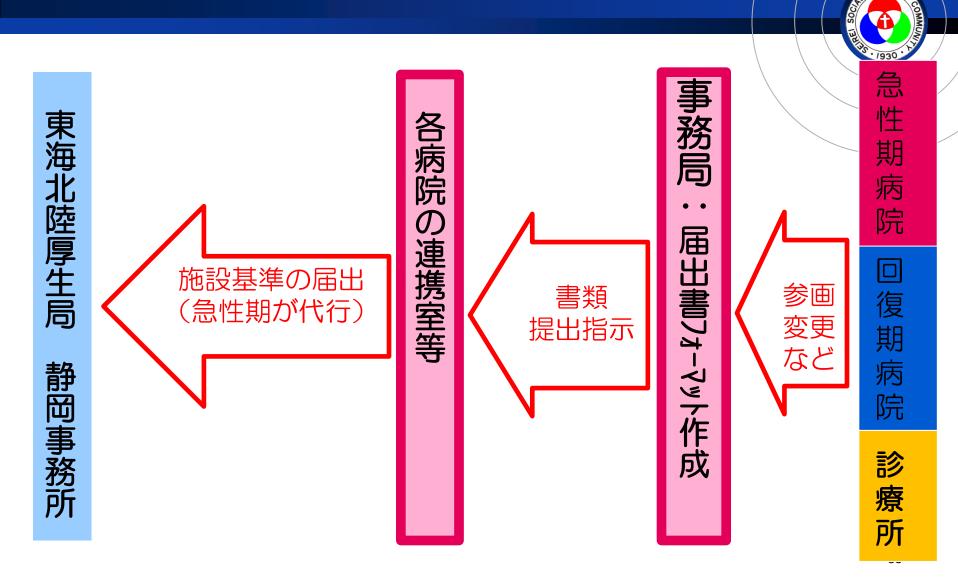
施設基準届出に関して

【重要】脳卒中地域連携パスへの参画には、

「静岡県保健医療計画」で、脳卒中診療に

関わる医療機関として掲載されていること。

施設基準届出(急性期病院が代行提出)



詳細は、事務局(浜松医大・連携室)にお問い合わせ下さい



脳卒中地域連携パス 運用概要 (参考)

急性期病院 運用(1/2)

- ①患者に急性期~診療所の連携を説明·同意。 (患者用パス)
- ②院内クリニカルパス: 地域連携クリニカルパス(医療者用パス) 又は、各病院のクリニカルパスで対応。
- ③退院転院基準に基づき、回復期病院・診療所等 と連携。
- 4診療報酬算定:
 - 連携病院へ転院、計画管理料を算定。
 - ・7/1報告(通称)で県へ実績報告(年1回)。

急性期病院 運用(2/2)

THE LEAR COMMUNICATION OF THE PARTY OF THE P

- ⑤クリアファイル(透明)を用意。
- ⑥パスポートの発行(クリアファイルへの綴じ込み)
 - •急性期病院紹介状
 - ・急性期病院データ用紙
 - •急性期病院統計用紙
 - ・再発予防ノート

記載項目: 定期的フォロー依頼検査(管理目標値含む)

SNS脳卒中スケール改定浜松版

特に注意する症状・状態

- •日常生活機能評価表(受傷前、退院時)
- ※発行後、原本を患者に手渡し。
- ※再診時やデイケア等、常に携帯するように指導。
- ⑦年次報告・学術統計のデータ収集と管理。

回復期病院 運用(1/2)

- ①患者に回復期~診療所の連携を説明・同意。 (患者用パス)
- ②院内クリニカルパス:

地域連携クリニカルパス(医療者用) 又は、各病院のクリニカルパスで対応。

③<u>退院転院基準</u>に基づき、診療所等へ退院 連携診療所の場合、診療報酬算定可能の情報を提供。

4診療報酬算定:

- ・連携診療所は、退院時指導料(I)+加算100点を算定。
- ・退院療養計画書・日常生活機能評価表の写しを、 急性期病院へ報告。
- ・7/1報告(通称)で県へ実績報告(年1回)。

回復期病院 運用(2/2)



⑥パスポートへ追記

- •中間医療施設紹介状
- 再発予防ノート

記載項目: 定期的フォロー依頼検査

SNS脳卒中スケール改定浜松版

特に注意する症状・状態(医師)

- •日常生活機能評価表(入院時、退院時)
- ※発行後、原本を患者に手渡し。
- ※再診時やデイケア等、常に携帯するように指導。
- ⑦年次報告・学術統計のデータ収集と管理。

診療所 運用



①パスポートへ追記

・再発予防ノート

記載項目: 定期的フォロー依頼検査

SNS脳卒中スケール改定浜松版

特に注意する症状・状態(医師)

- 日常生活機能評価表(初診時)
- ※再診時やデイケア等、常に携帯するように患者へ指導。
- ※再発予防ノートに症状・状態の気づきやSNSスケール等の記載を指導。
- ※原本を患者に手渡し。再診時やデイケア等、携帯するよう指導。

②診療報酬算定:

- ・回復期が診療報酬算定した場合、初回のみ退院時指導料(Ⅱ) を算定。
- 再発予防ノート(初診時)・日常生活機能評価表(初診時)の写しを、急性期病院、回復期病院へ報告(FAX可)。

医師会との連携:急変時の対応

【浜松市医師会との取り決め】 ※浜松市医師会総会にて

- 原則として初回入院の急性期病院が受け入れる
 - → 仮に、急性期病院が満床時で受入れ不可?

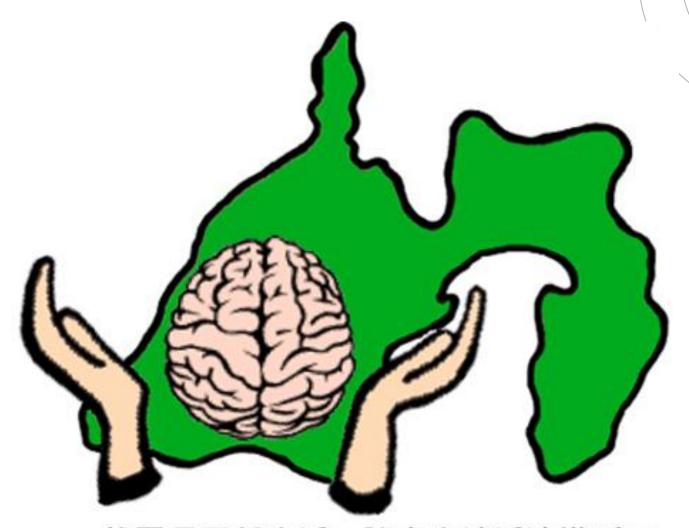
【平日時間内】

急性期病院がまず外来で対応。入院が必要な場合急性期病院が、地域ネットワークを考える会の世話人レベルで対応し、他の急性期病院に紹介等おこなう。

【時間外】

二次救急患者として、浜松方式に準ずる





静岡県西部広域 脳卒中地域連携パス